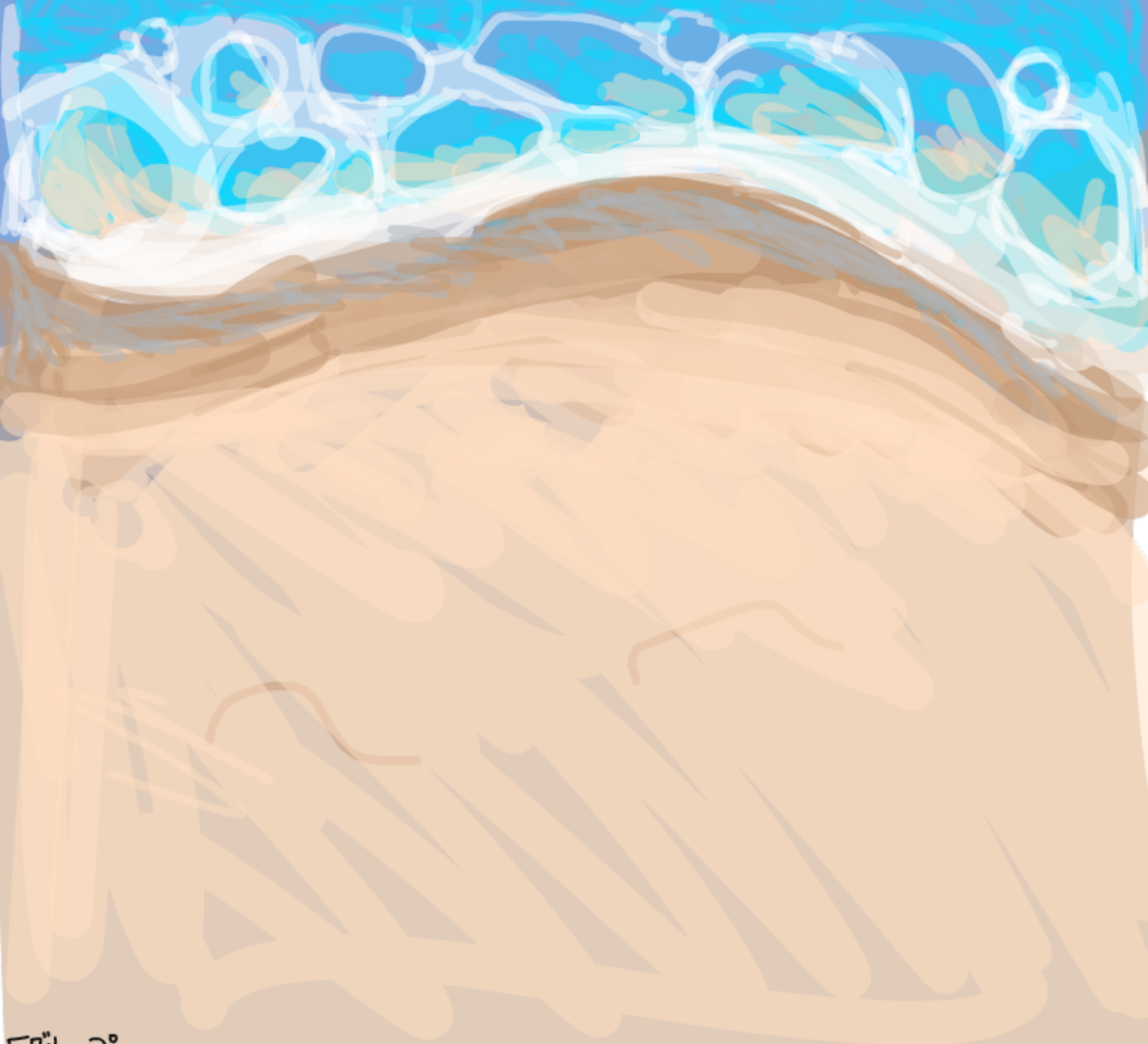


真鶴町と海の環境を守ろう！

ゴミのポイ捨てについて



「真鶴町と海の環境を守ろう！」 ゴミのポイ捨てについて

Fグループ

<もくじ>

1 海の環境を守る取り組みについて学んだ事

2 自分たちにできること

3 地域の方、観光客の方に伝えたいこと

4 編集後記(あとがき)



海の環境を守る取り組みについて 学んだこと

岩海岸にペットボトルのゴミやタバコの吸い殻が捨てられていた。自然で分解されるゴミと自然で分解されないゴミがある。自然で分解されるのに300年近くかかる物がある。釣り糸は600年かかる。ペットボトルは長くて1000年かかることもある。マイクロプラスチックを魚が餌と間違えて食べてしまうからポイ捨てをしないようにする。



<調べて学んだこと>

「真鶴には、ゴミがよく見つかるが真鶴町の誇りである海を守りたい」と、クラスで話し合って、岩海岸にゴミ拾いをしに行きました。

そして、集めたゴミを分けたら

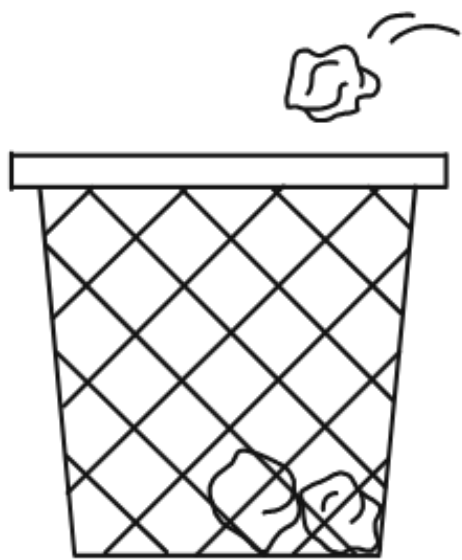
「海から流れてきたもの」

「人工的に作られたもの」

「陸からきたもの」

と三つの種類に分けられました。特に人工的に作られたものが多かったです。

それに、マイクロプラスチックも発見。岩海岸で色々なものをたくさん拾いがっかりしました。



自分たちにできること

私の体験

前に買い物に行く時に、マイバッグを持っていかずに行き、ビニール袋を買ってゴミになってしまったことがある。



そのためにできること

ビニール袋を買うとゴミになることが多くてそのゴミをポイ捨てしたりすると、ゴミが増えて海に風でゴミが流されたりすると生き物の居場所がなくなって悪影響だし、海が汚れて環境が悪くなる。買い物をするさいは、マイバッグを持参することで、ビニール袋を買わずにすみ、ゴミを減らすことができますと思います。

自分たちにできること

私は常に出かける時は水筒を持ち歩いています。なぜかというと、ペットボトルをあまり使いたくないからです。自動販売機はお金を入れてボタンを押すだけなので楽です。けれど、飲み終わったあとのペットボトルは荷物になるので、できるだけ持ち歩きたくないという人が私の周りだと多いです。飲み終わった後に、都合よく近くにペットボトルのゴミ箱があることは、私の経験上、ほぼないです。

私が言いたいことは、「ペットボトルを使わない」ということではなく、使っても良いが、その後の処理ができないのなら、これからの地球のために、使わない。もしくは使っても良いが、ポイ捨てをしないとか、資源が無駄になることを避けるなど、環境のことを考えて生活してほしいということです。それがどんなに小さいと思っても、その積み重ねが大切です。

自分にできる小さなことから始めていきませんか。



【ポイ捨てをしたら、どうなるか。】

地域の方々、観光客の方々に
伝えたいこと

砂浜などにプラスチックが含まれたゴミが捨てられてしまうと、風が吹いて海に流されてしまい、食べ物とかんちがいして食べてしまった生き物が消化不良を起こしたり、体の中が傷ついてしまったりして死んでしまうことがあります。

それ以外にも海や町、自然などが汚れてしまいます。

地域の方も観光客の方も、ゴミを持ち帰ったりゴミ箱に捨てるということをしっかり守りましょう。



[ゴミのこと]

〈伝えたいこと〉

海とかに行くと、ゴミが多いので、そのゴミを減らすためにいま自分ができることをやってほしいです。

- 自分のゴミは、しっかりとゴミ箱に捨てましょう。
- 3R(リサイクル、リデュース、リユース)をやっていきましょう。
- 買い物に行く時は、エコバッグを使っていきましょう。
- ペットボトルはできるだけ使わず、水筒を使っていきましょう。



あしがき〈編集後記〉

- ぜひ、町や海などの環境をいま、自分たちができることから始めていって、環境を守っていきたいと思いました。
- ゴミをポイ捨てすると生き物にも悪影響だし、町が汚れるのでゴミを分別して捨てようと思います。
- 楽な方向ばかりに進んでいったら、地球は悪い方向に進んでいくから、対策を私も考えていくので、皆さんも考えていきましょう。
- 町の方々もゴミ問題を解決するためにみなさんのご協力をお願いしたいです。
- ゴミを減らすために町の方々真鶴町に来た方々ゴミを持ち帰って欲しいです。
- 町のペットボトルや紙のゴミなどをポイ捨てせずに、捨てる場所などを考えて生活していこうと思いました。

地域の方、観光客の方へ

最後まで『ゴミのポイ捨てについて』のパンフレットを読んでくださって、ありがとうございました。

「海の環境を守ろう」Fグループ 6年生一同